

第1回 10尿病クイズ

名前()

第1問:糖尿病とは生活習慣病である。()

第2問:発症は家族歴に関係がある。()

第3問:糖尿病の初期症状は無症状である。()

第4問:糖尿病で急に太ることはあっても急激に痩せることはない。
()

第5問:糖尿病患者さんが食事・運動療法にて体重が減少すると
糖尿病のコントロールもよくなることが多い。()

第6問:1型糖尿病患者さんの空腹時血中Cペプチドは0.5ng/ml以下である。
()

第7問:1型糖尿病患者さんの自己抗体はGAD抗体、IAA、ICA、IA-2抗体など
陽性である事が多い。()

第8問:1型糖尿病患者さんは強化インスリン療法が必須である。
()

第9問:肝硬変、腎性貧血(エリスロポエチン治療中)、溶血、鉄欠乏性貧血の回復
期、急激に増悪した糖尿病の患者さんのHbA1cが低めにでる。
()

第10問:急激に改善した糖尿病患者さんのHbA1cは高めにでる。
()

ご協力ありがとうございました。

第1回 10尿病クイズ解答

第1問: 糖尿病とは生活習慣病である。 ()

第2問: 発症は家族歴に関係がある。 ()

第3問: 糖尿病の初期症状は無症状である。 ()

第4問: 糖尿病で急に太ることはあっても急激に痩せることはない。 ()

糖が身体に取り込まれないため脂肪やたんぱく質を糖の代わりに使います。いわゆる筋肉等のためにあったたんぱく質・脂肪を使うため痩せてきます。

第5問: 糖尿病患者さんが食事・運動療法にて体重が減少すると

糖尿病のコントロールもよくなることが多い。 ()

インスリン抵抗性が改善されるため、インスリンの効きもよくなりコントロールが改善されることが多くなります。

第6問: 1型糖尿病患者さんの空腹時血中Cペプチドは0.5ng/ml以下である。

血中Cペプチド値、尿中Cペプチド排泄量はインスリン分泌能の指標となります。血中Cペプチドが0.5ng/ml以下、尿中Cペプチド排泄量が20 μ g/日以下であればインスリン依存状態と考えます。1型糖尿病患者さんはインスリン依存状態なので血中Cペプチドは0.5ng/ml以下となります。 ()

第7問: 1型糖尿病患者さんの自己抗体はGAD抗体、IAA、ICA、IA-2抗体など

陽性である事が多い。 ()

第8問: 1型糖尿病患者さんは強化インスリン療法が必須である。

強化インスリン療法とは一日3~4回以上の頻回インスリン注射方法です。1型糖尿病の方はインスリン依存状態である為、基礎分泌、追加分泌分を補う必要があり強化インスリン療法が望ましいのですが、年齢、活動量、実生活での食事時間等を考慮して2回法ないし3回法ということもあるので必須とは言い切れません。 ()

第9問:肝硬変、腎性貧血(エリスロポエチン治療中)、溶血、鉄欠乏性貧血の回復

期、急激に増悪した糖尿病の患者さんのHbA1cが低めにでる。

HbA1cとはヘモグロビンに糖がくっついている量で見えています。貧血のある方はヘモグロビン量も少ないため低めに出てしまいます。また、ヘモグロビンの寿命が約120日の為、糖尿病が急激に悪化してもヘモグロビンの中にはよかった時期のヘモグロビンがあるので低めにでています。(○)

第10問:急激に改善した糖尿病患者さんのHbA1cは高めにでる。

第9問の回答と同じような内容でヘモグロビンの寿命は約120日です。糖尿病が急激に改善してもヘモグロビンの中にはコントロールが悪かった時期のヘモグロビンもあるので、完全によくなった時のを反映しようとする約120日後からになります。その為しばらくの間高めにすることがあります。

(○)

ご協力ありがとうございました。

皆さん、お疲れ様でした。高得点が多かったのが印象的です。

次もこの調子で頑張ってください。

強制ではないですが多数の参加をよろしくお願いします。